

# 大阪経済の情勢

(平成26年2月指標を中心に)

平成 26 年 4 月  
大阪府商工労働部  
(大阪産業経済リサーチセンター)

## 「大阪経済は、緩やかに回復している」

**需要面**では、個人消費は緩やかに回復しており、消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。大型小売店販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数はすべて増加した。家計消費支出(近畿)は増加。投資は増加の動きに一服感がみられる。住宅投資は減少、非居住用建設投資は増加した。公共投資は減少。輸出は持ち直している。輸出額は12ヶ月連続で増加し、主要国向けではすべての地域で増加。輸入額は14ヶ月連続の増加。取扱貨物量は、関空、大阪港ともに増加。

**供給面**では、生産動向は持ち直している。大阪府(1月)は、生産は低下、出荷は上昇。近畿の生産(1月)は上昇、全国の生産(2月)は低下。在庫循環は意図せざる在庫減局面。雇用は着実に改善している。所定外労働時間は増加し、近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。倒産は、件数は改善、負債金額は悪化。

先行きについては、景気動向指数(先行)は低下。今後は、消費税率引き上げ後の動向、海外経済の動向等に引き続き注意が必要。

		需要							
	総合	消費				投資		貿易・貨物	
	一致CI(大阪)	大型小売店販売(大阪)	コンビニ販売(近畿)	家電販売(近畿)	新車販売(大阪)	新設住宅着工(大阪)	建築物着工(大阪)	輸出(近畿)	関空取扱貨物量
2月	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑
1月	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↑

		供給			その他	
	生産	雇用		倒産	観光	
	生産指数(大阪)	生産指数(全国)	有効求人倍率(大阪)	失業率*(近畿)	倒産件数*(大阪)	関空外国人旅客
2月	↓	↓	↑	↑	↑	↑
1月	↓	↑	↑	↑	↓	↑

※前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

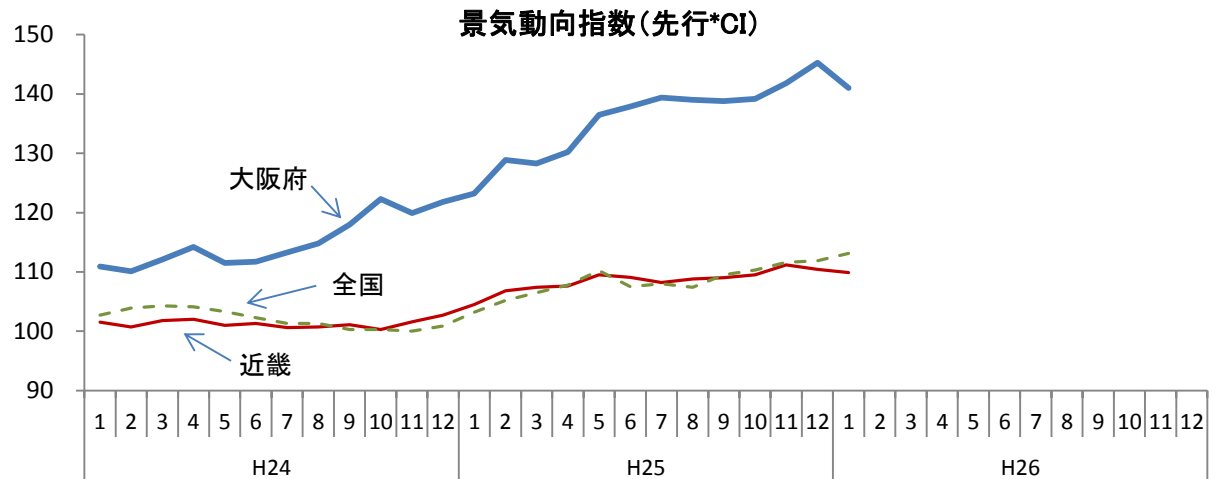
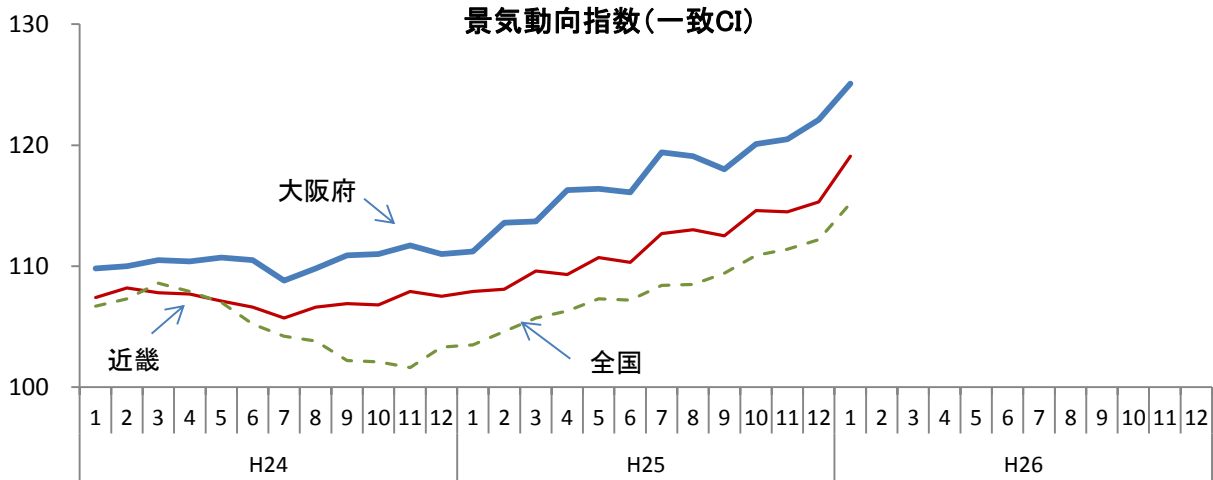
(参考)他機関の総括判断

	前回(26年2月公表分) (25年12月指標中心)	今回(26年3月公表分) (26年1月指標中心)
<a href="#">内閣府「月例経済報告」</a>	景気は、緩やかに回復している。	景気は、緩やかに回復している。また、消費税率引上げに伴う駆け込み需要が強まっている。
<a href="#">近畿経済産業局「近畿経済の動向」</a>	近畿地域の経済は、着実に持ち直している。	近畿地域の経済は、着実に持ち直している。
<a href="#">日本銀行大阪支店「近畿地域金融経済概況」</a>	近畿地域の景気は、緩やかに回復しており、消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。	近畿地域の景気は、緩やかに回復しており、消費税率引き上げ前の駆け込み需要と一部に反動もみられている。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(1月)は一致CIは上昇、先行CIは低下。大阪府(一致CI)では、主に「所定外労働時間指数」、「輸入通関額」が上昇に寄与。近畿(1月)は一致CIは上昇、先行CIは低下。全国(1月)の一致は上昇。】



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

※ H22=100。

先行 CI は、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

一致 CI

	25年12月	26年1月	2月
大阪府	122.1	P 125.1	
近畿	115.3	P 119.1	
全国	112.2	115.2	

先行 CI

	25年12月	26年1月	2月
大阪府	145.3	P 141.0	
近畿	110.4	P 109.9	
全国	111.9	113.1	

一致CIの個別系列の寄与度\*(大阪府、1月速報)

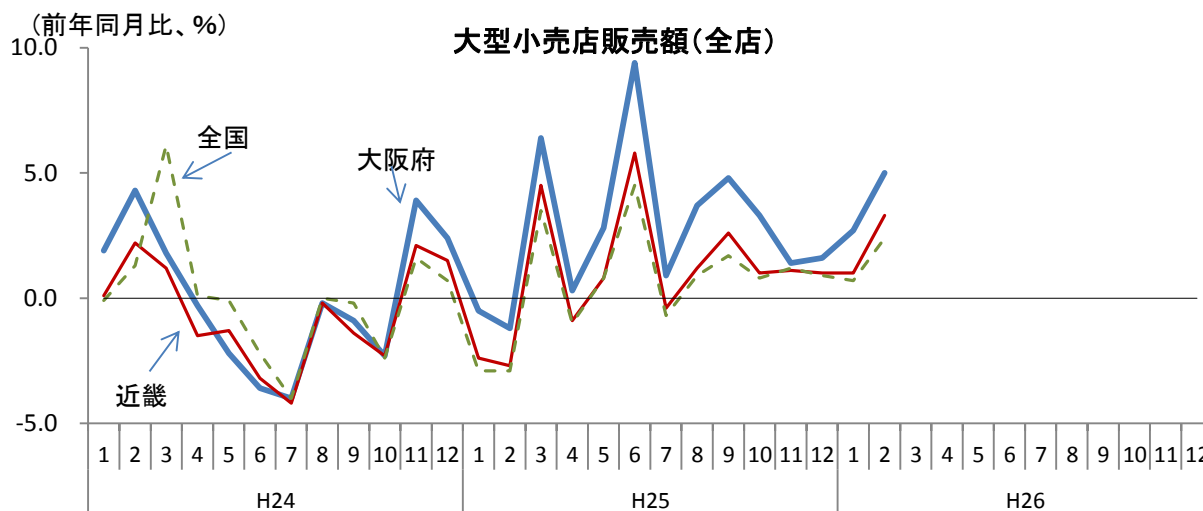
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	関西大口電力 使用量(合計)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
0.16	1.12	▲0.42	▲0.38	0.99	0.33	1.24

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

## [需要] 消費

個人消費は緩やかに回復しており、消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。大型小売店販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数はすべて増加した。家計消費支出(近畿)は増加。

### ○大型小売店販売額(全店)【12ヶ月連続の増加。百貨店販売額は16ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「大型小売店販売状況」、経済産業省「商業販売統計」

#### 大型小売店販売額(全店)

		25年12月	26年1月	2月
販売額(億円)	大阪府	1,961	1,509	P 1,311
前年比(%)	大阪府	1.6	2.7	P 5.0
	近畿	1.0	1.0	P 3.3
	全国	0.9	0.7	P 2.4

#### 百貨店(大阪府)

		25年12月	26年1月	2月
販売額(億円)		1,071	800	P 665
前年比(%)		3.3	4.6	P 6.5

#### スーパー(大阪府)

		25年12月	26年1月	2月
販売額(億円)		890	708	P 646
前年比(%)		▲0.3	0.7	P 3.5

#### 大阪府内大型小売店へのヒアリングより(2月)

2月は、バレンタイン商戦で紳士洋品、財布・革小物等のギフト関連商品が好調に推移した。冬物売り尽くしセールは企業で明暗が分かれた。消費税率引き上げ前の駆け込み需要では、エアコン、冷蔵庫等の家電、トイレトペーパー等の消耗雑貨品、化粧品等にも広がり始めている。

また、春節に合わせて外国人旅行者が値上げ前的高額ブランド品購入のために多数来店し、売上増につながった。

### ○コンビニエンスストア販売額(全店)【近畿は12ヶ月連続の増加。】

		25年12月	26年1月	2月
販売額(億円)	近畿	1,269	1,153	P 1,090
前年比(%)	近畿	5.8	6.2	P 7.6
	全国	4.9	5.4	P 6.2

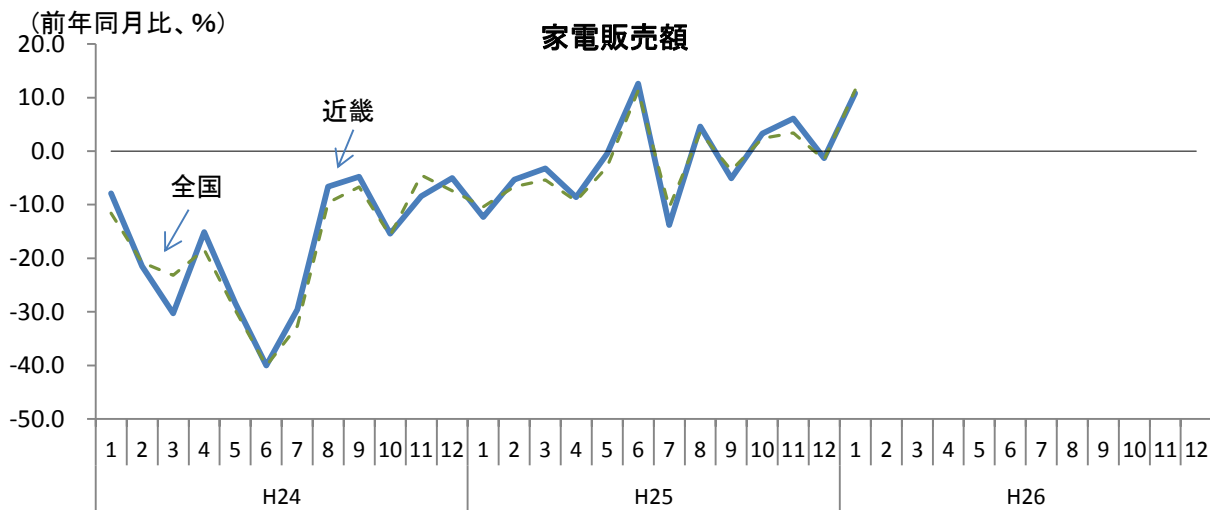
### ○家計消費支出【近畿は7ヶ月連続の増加。】

		25年12月	26年1月	2月
円	近畿	354,459	312,037	304,234
前年比(%)	近畿	0.7	2.8	6.2
	全国	▲0.3	1.5	▲1.4

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上の世帯うち勤労者世帯、一世帯当たりの名目。

## [需要] 消費

### ○家電販売額【近畿(1月)は2ヶ月ぶりの増加。】



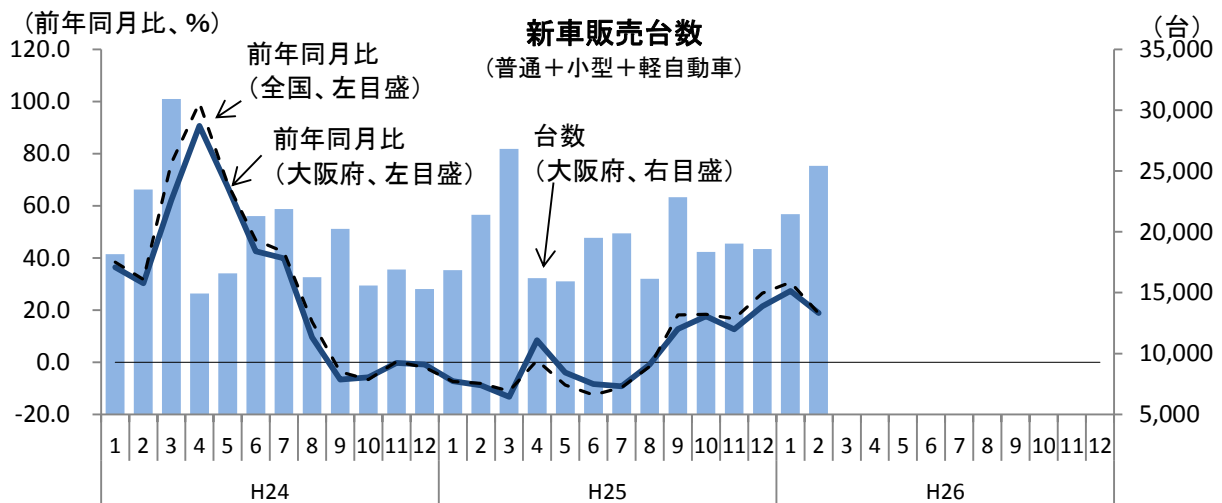
(資料) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

#### 商品別の主な増減(近畿、1月)

		25年12月	26年1月	2月
前年比 (%)	近畿	▲1.3	10.8	
	全国	▲1.6	11.4	

「オーディオ」(前年同月比 31.0%減)が前年を下回ったものの、「エアコン」(同 48.3%増)、「パソコン(本体)」(同 22.8%増)などが前年を上回った。

### ○新車販売台数【6ヶ月連続の増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		25年12月	26年1月	2月
販売額(台)	大阪府	18,586	21,461	25,426
前年比 (%)	大阪府	21.4	27.3	18.9
	全国	26.5	30.6	18.8

#### 車種別の増減

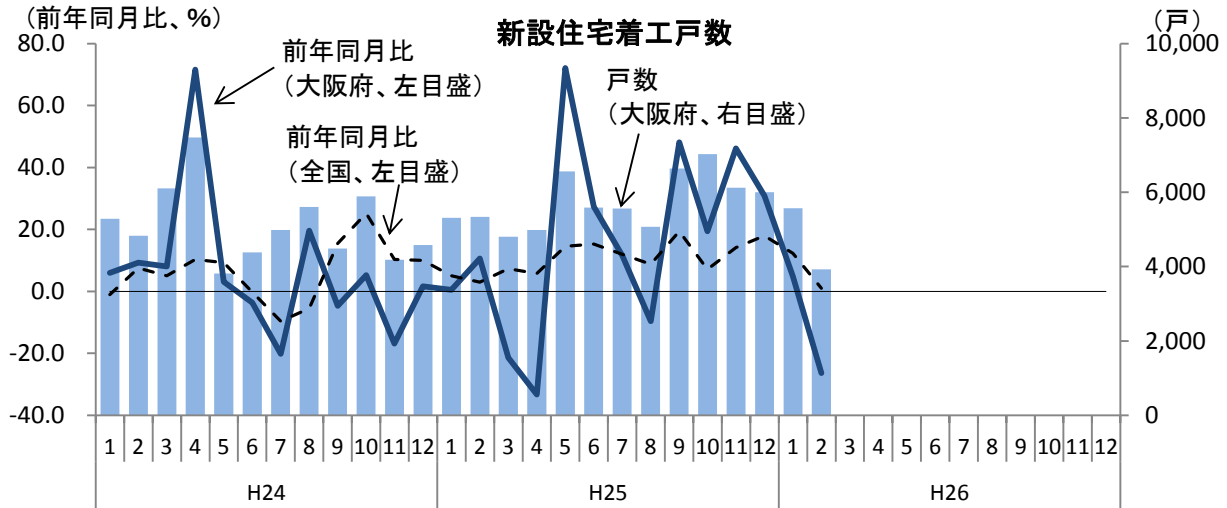
(大阪府、前年同月比(%)、2月)

普通車	小型車	軽自動車
25.2	5.2	27.2

## [需要] 投資

投資は、増加の動きに一服感がみられる。住宅投資は減少、非居住用建設投資は増加した。公共投資は減少。

### ○新設住宅着工戸数【6ヶ月ぶりの減少。】



(資料)国土交通省「住宅着工統計」

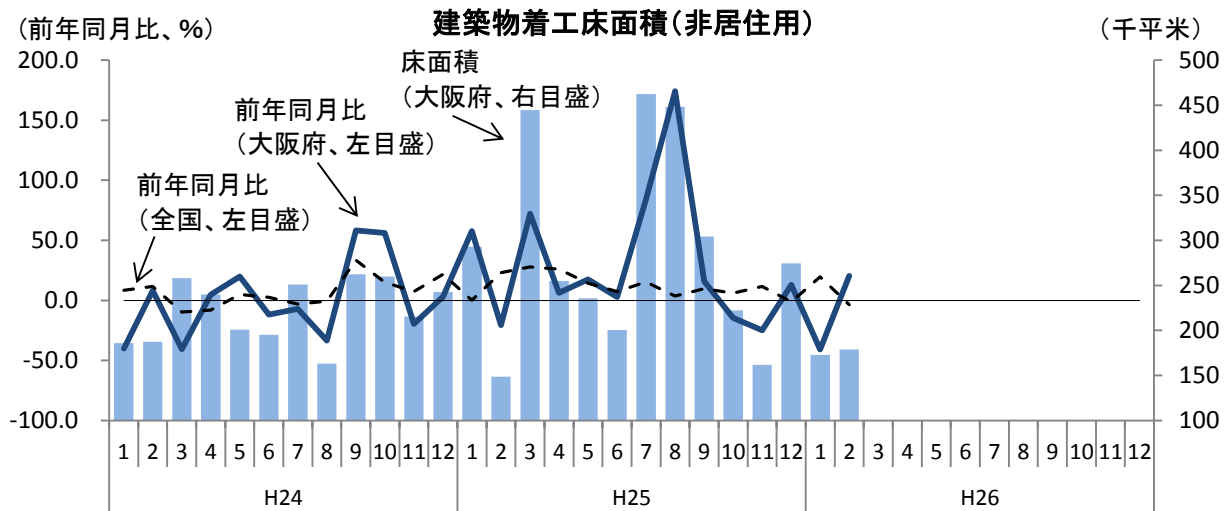
		25年12月	26年1月	2月
戸数	大阪府	5,998	5,567	3,925
前年比 (%)	大阪府	30.9	4.8	▲26.4
	全国	18.0	12.3	1.0

利用者関係別の増減

(大阪府、前年同月比(%))、2月)

持家	貸家	分譲
▲17.4	▲1.2	▲46.8

### ○建築物着工床面積(非居住用)【2ヶ月ぶりの増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

		25年12月	26年1月	2月
千m <sup>2</sup>	大阪府	275	173	179
前年比 (%)	大阪府	13.0	▲41.0	20.3
	全国	▲1.1	19.7	▲3.6

着工床面積の主な増減

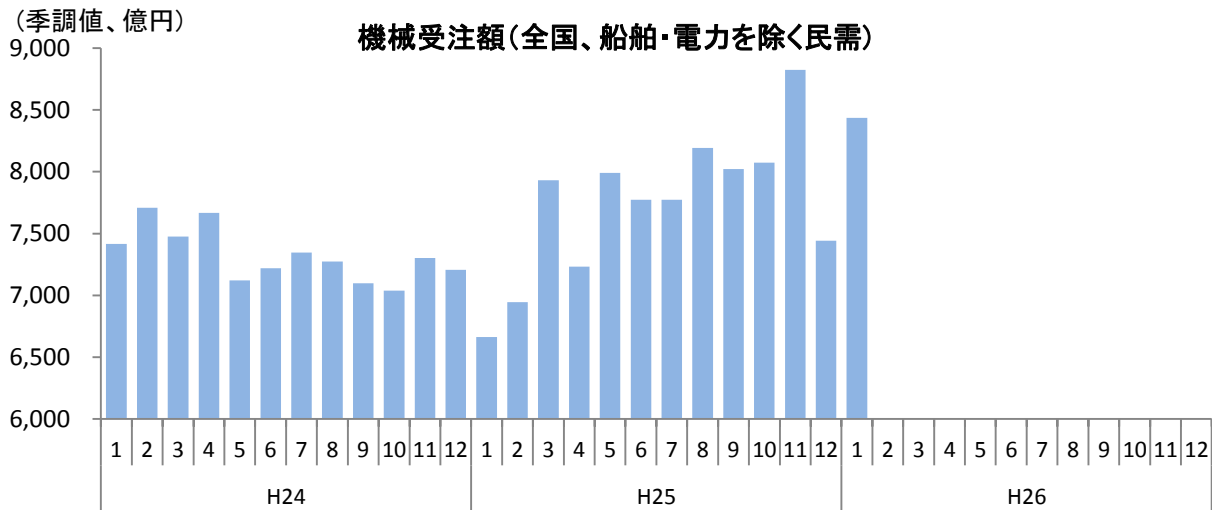
(大阪府、前年同月比の寄与度※(%))、2月)

増加	医療・福祉(25.4)
	教育、学習支援業(13.7)
減少	運輸業(▲16.2)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

## 【需要】 投資

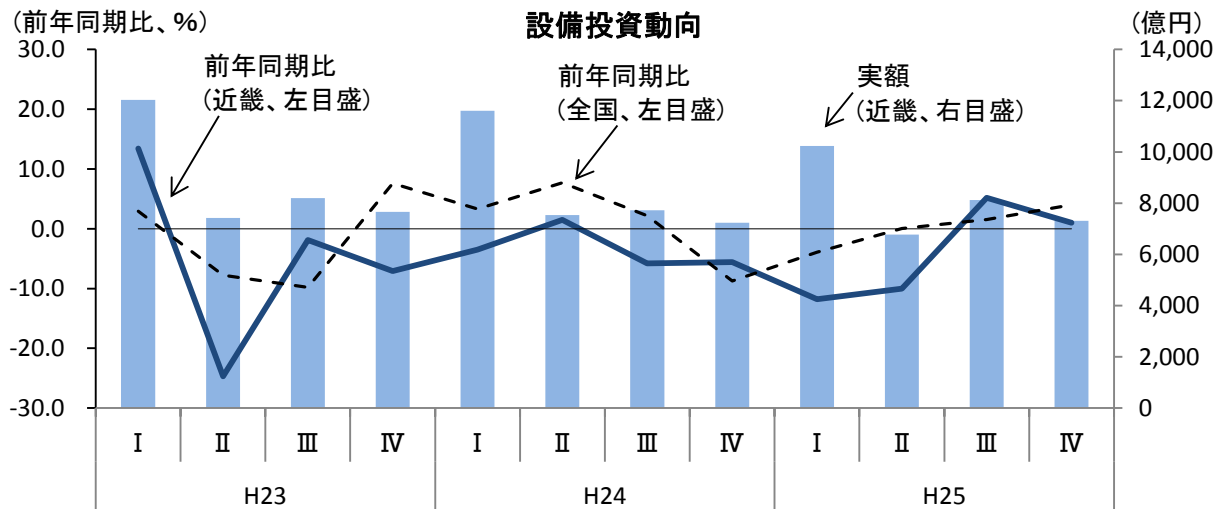
### ○機械受注額【1月(全国)は先月の反動により大幅に増加。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	25年12月	26年1月	2月
全国(億円)	7,441	8,435	

### ○設備投資動向【10~12月期(近畿)は増加。「製造業」は減少、「非製造業」は増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		25年4~6月	7~9月	10~12月
億円	近畿	6,778	8,123	7,308
前年同期比(%)	近畿	▲10.0	5.2	1.0
	全国	0.0	1.5	4.0

### ○公共工事請負金額【11ヶ月ぶりの減少。】

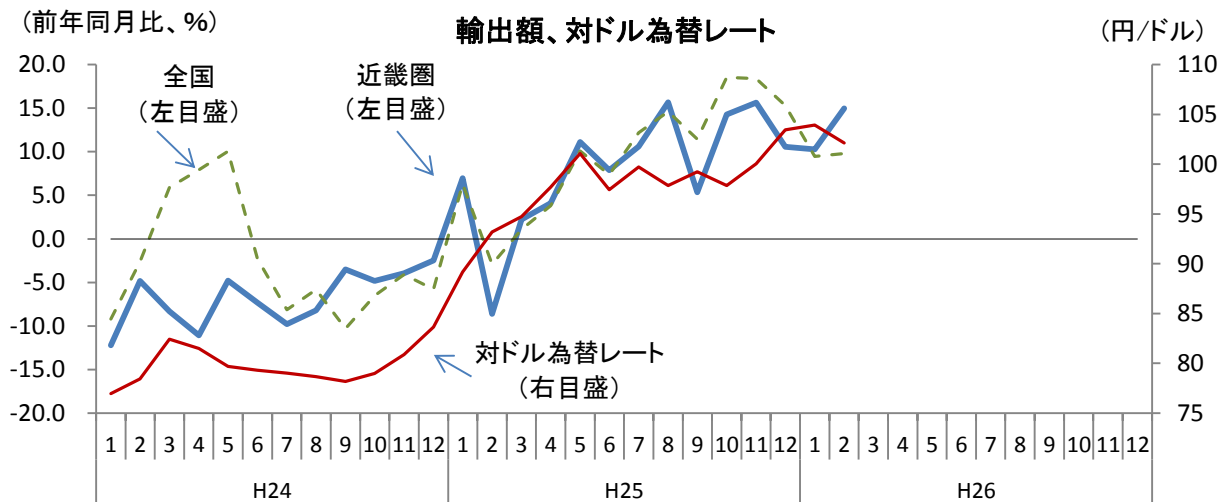
		25年12月	26年1月	2月
億円	大阪府	458	229	222
前年比(%)	大阪府	140.4	56.5	▲27.9
	全国	7.5	28.8	3.7

(資料)西日本建設業保証(株)「公共工事前払保証統計」

## [需要] 貿易・貨物

輸出は持ち直している。輸出額は12ヶ月連続で増加し、主要国向けではすべての地域で増加。輸入額は14ヶ月連続の増加。取扱貨物量は、関空、大阪港ともに増加。

○輸出額【12ヶ月連続の増加。「鉱物性燃料」、「科学光学機器」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域で増加。】

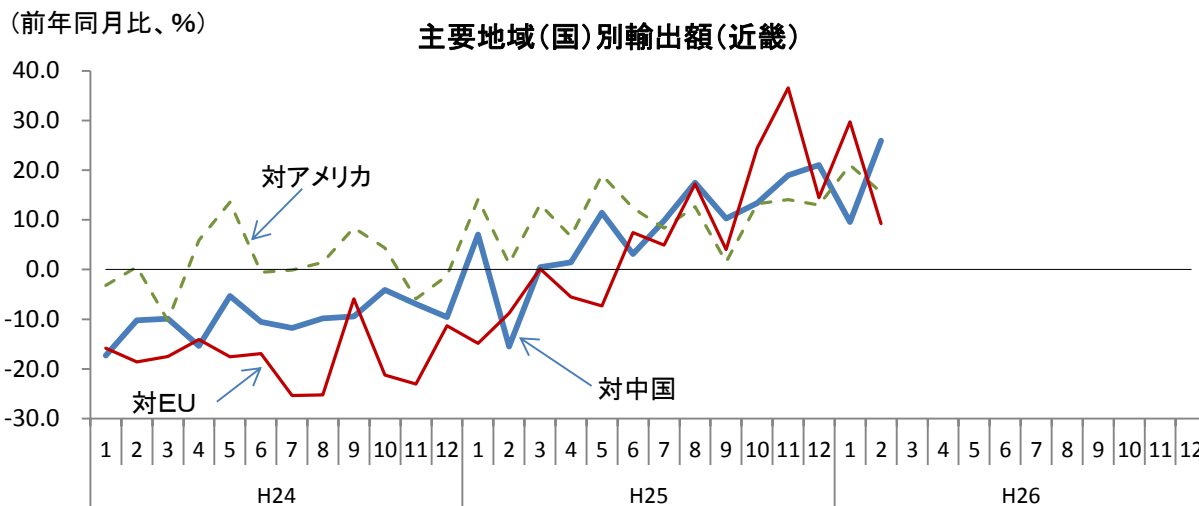


(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		25年12月	26年1月	2月
輸出額(億円)	近畿	13,084	10,877	P 12,126
前年比 (%)	近畿	10.6	10.3	P 15.0
	全国	15.3	9.5	P 9.8
為替レート(円/ドル)		103.46	103.94	102.13

品目別の主な増減 (近畿、前年同月からの増減額順、2月)	
増加	鉱物性燃料、科学光学機器、 半導体等電子部品
減少	ガラス及び同製品、事務用機器、自動車

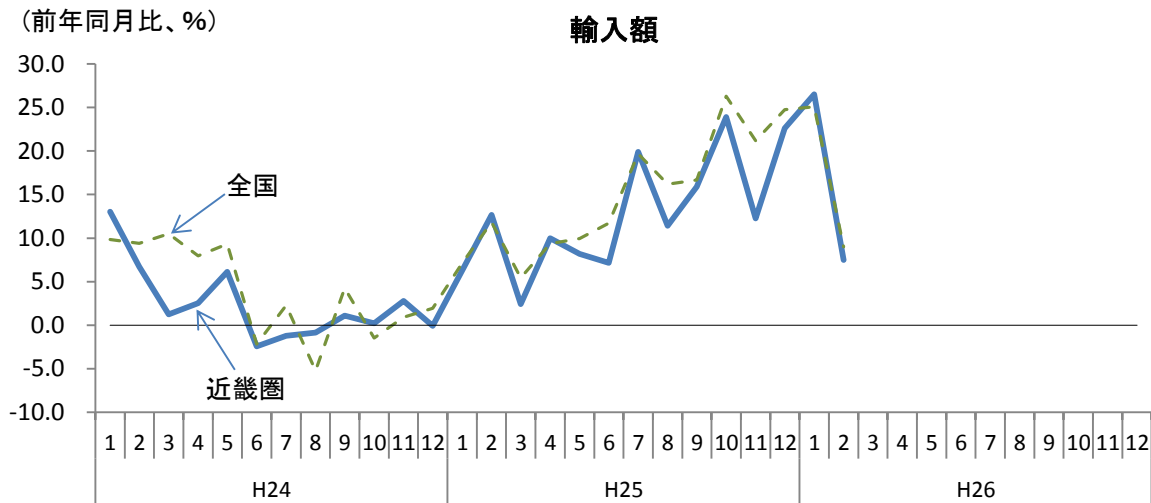


(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、2月		
アジア(含む中国)	14.6	12ヶ月連続の増加
中国	25.9	12ヶ月連続の増加
EU	9.2	9ヶ月連続の増加
アメリカ	15.5	14ヶ月連続の増加

## [需要] 貿易・貨物

○輸入額【14ヶ月連続の増加。「原油及び粗油」、「天然ガス及び製造ガス」などが増加。】



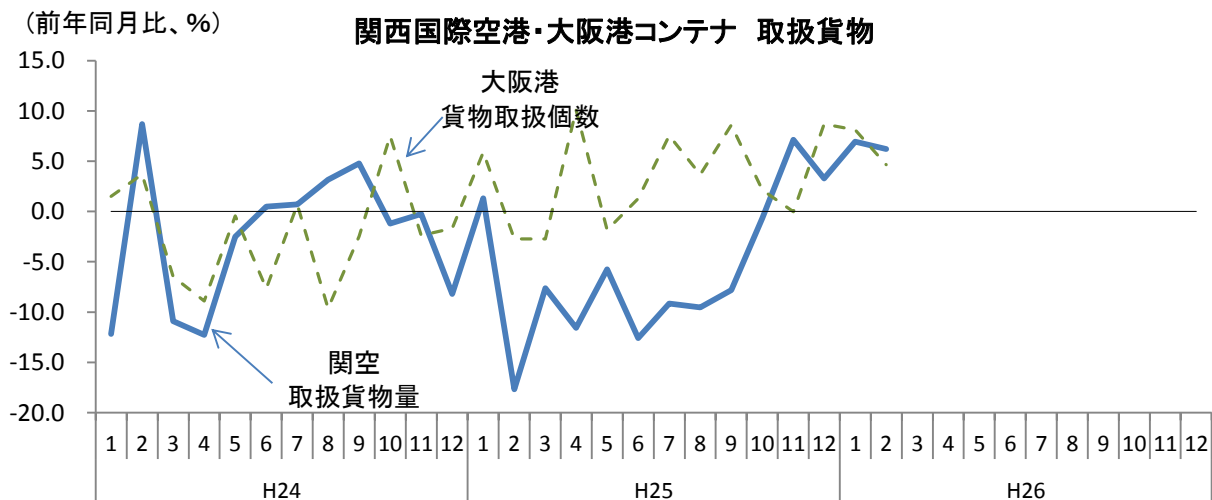
(資料)大阪税関「貿易統計」

		25年12月	26年1月	2月	品目別の主な増減 (近畿、前年同月からの増減額順、2月)	
輸入額(億円)	近畿	13,854	P 15,483	P 11,596	増加	原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス、 半導体等電子部品
前年比 (%)	近畿	22.6	P 26.5	P 7.5	減少	衣類及び同付属品、鉄鉱石、 がん具及び遊戯用具
	全国	24.8	P 25.1	P 9.0		

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%)、2月)

地域	増減率(%)	傾向
アジア(含む中国)	5.4	14ヶ月連続の増加
中国	▲4.9	14ヶ月ぶりの減少
EU	6.5	3ヶ月連続の増加
アメリカ	10.0	6ヶ月連続の増加

○関空取扱貨物量【4ヶ月連続の増加】、大阪港コンテナ貨物取扱個数【3ヶ月連続の増加。】



(資料)新関西国際空港(株)「運営概況」、大阪市「港湾統計」

※関西国際空港貨物取扱量はトン、大阪港コンテナ貨物取扱個数はTEUで、外貿の実入+空の合計。

※TEUとは、コンテナ船の積載能力を示す単位で、1TEUは20フィートコンテナ1個分を示す。

関空取扱貨物量		25年12月	26年1月	2月	大阪港コンテナ貨物取扱個数	
千トン		60.7	P 52.1	P 48.7	千TEU	P 199
前年比(%)		3.3	P 6.9	P 6.2	前年比(%)	P 8.7
						PP 193
						PP 143

※PPは速報値

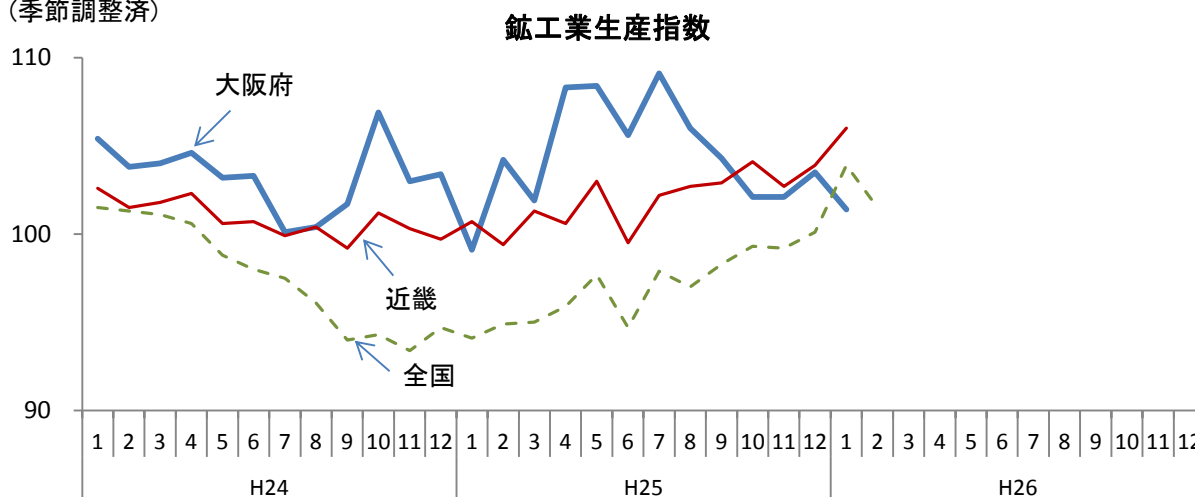


## [供給] 生産

生産動向は持ち直している。大阪府(1月)は、生産は低下、出荷は上昇。近畿の生産(1月)は上昇、全国の生産(2月)は低下。在庫循環は意図せざる在庫減局面。

○**鉱工業生産指数**【大阪府(1月)は2ヶ月ぶりの低下。「その他工業」、「電子部品・デバイス」などが低下。近畿(1月、鉱工業)は2ヶ月連続の上昇。全国(2月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの低下。】

(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
※大阪府は製造工業指数。H22=100。

季調済	25年12月	26年1月	2月
大阪府	103.5	P 101.4	
近畿	103.9	106.0	
全国	100.1	103.9	P 101.5

### 産業別の主な変動 (大阪府、前月比(%))、寄与度順、1月速報)

上昇	<b>電気機械(13.2):</b> 開閉制御装置、セパレート型エアコン <b>はん用・生産用・業務用機械(3.7):</b> はん用内燃機関、旋盤 <b>金属製品(2.4):</b> 橋りょう、食缶
低下	<b>その他(▲18.7):</b> 平版印刷(オフセット印刷)、金属製機 <b>電子部品・デバイス(▲11.7):</b> 液晶素子 <b>輸送機械(▲3.6):</b> 自動車用駆動伝導・操縦装置部品、シャシー・車体部品

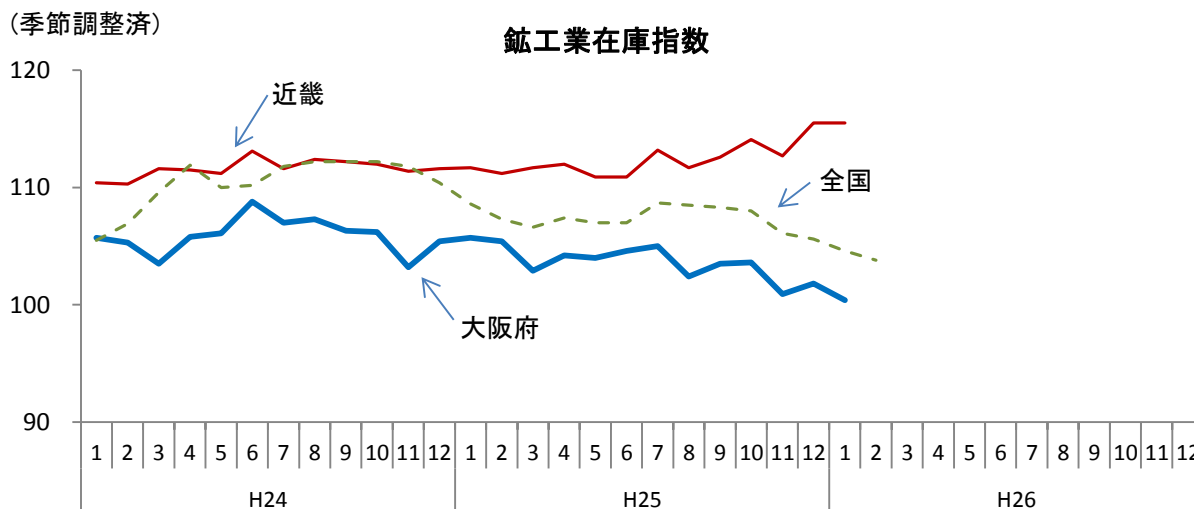
○**鉱工業出荷指数**【大阪府(1月)は2ヶ月ぶりの上昇。「はん用・生産用・業務用機械」、「電気機械」などが上昇。近畿(1月)は4ヶ月連続の上昇。全国(2月)は6ヶ月ぶりの低下。】

季調済	25年12月	26年1月	2月
大阪府	96.6	P 96.8	
近畿	103.1	107.2	
全国	99.9	105.0	P 103.9

(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
※大阪府は製造工業指数。H22=100。

## [供給] 生産

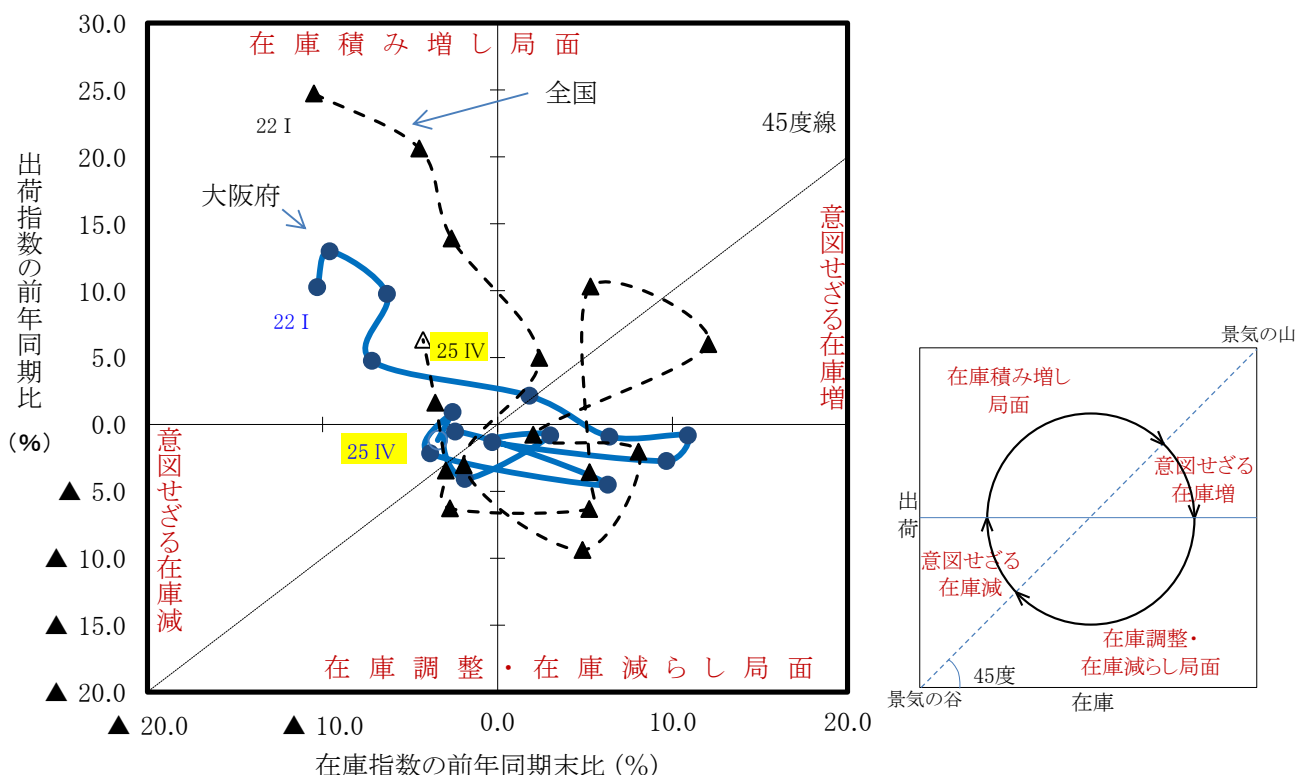
○**鉱工業在庫指数【大阪府(1月)は2ヶ月ぶりの低下。「鉄鋼」、「窯業・土石製品」などが低下。近畿(1月)は横ばい。全国(2月)は7ヶ月連続の低下。】**



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
※大阪府は製造工業指数。H22=100。

季調済	25年12月	26年1月	2月
大阪府	101.8	P 100.4	
近畿	115.5	115.5	
全国	105.6	104.6	P 103.8

○**在庫循環図【大阪府は意図せざる在庫減局面。全国は在庫積み増し局面。】**



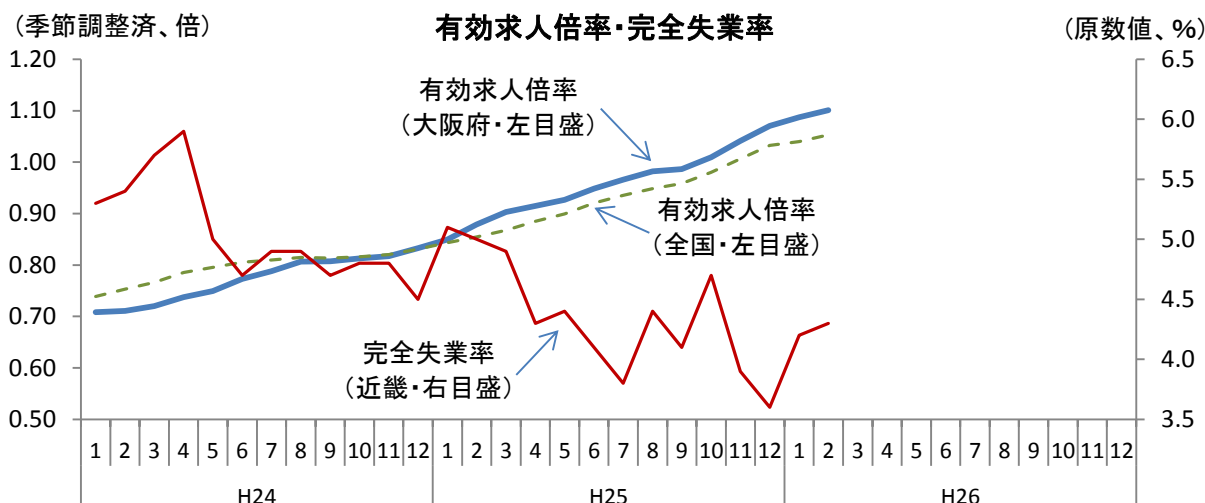
(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、経済産業省「鉱工業指数」、内閣府「鉱工業の在庫循環図と概念図」  
※出荷指数は原数値の四半期平均、在庫指数は原数値の四半期期末月の数値。  
大阪府は製造工業指数。四半期は暦年ベース。

## [供給] 雇用・倒産

雇用は着実に改善している。所定外労働時間は増加し、近畿の失業率は改善。有効求人倍率、新規求人倍率はともに上昇。倒産では、件数は改善、負債金額は悪化。

### ○完全失業率【近畿は前年同月差で17ヶ月連続の低下(改善)。】

有効求人倍率【大阪は16ヶ月連続の上昇】、新規求人倍率【大阪は2ヶ月ぶりの上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	25年12月	26年1月	2月
%	3.6	4.2	4.3
前年同月差	▲0.9	▲0.9	▲0.7

完全失業率(全国、季節調整値)

	25年12月	26年1月	2月
%	3.7	3.7	3.6
前月差	▲0.2	0.0	▲0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	25年4~6月	7~9月	10~12月
大阪府	5.2	4.4	4.2
近畿	4.3	4.1	4.1
全国	4.2	4.0	3.7

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	25年12月	26年1月	2月
大阪府	1.07	1.09	1.10
全国	1.03	1.04	1.05

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	25年12月	26年1月	2月
大阪府	1.76	1.75	1.82
全国	1.61	1.63	1.67

若年者の有効求人倍率(大阪府、倍、2月)

24歳以下	1.23
25~34歳	1.23

(資料)大阪労働局「労働市場月報」

※就職機会積み上げ方式、パートを含む

新規求人数の主要産業別の増減

(大阪府、前年同月比(%), 2月)

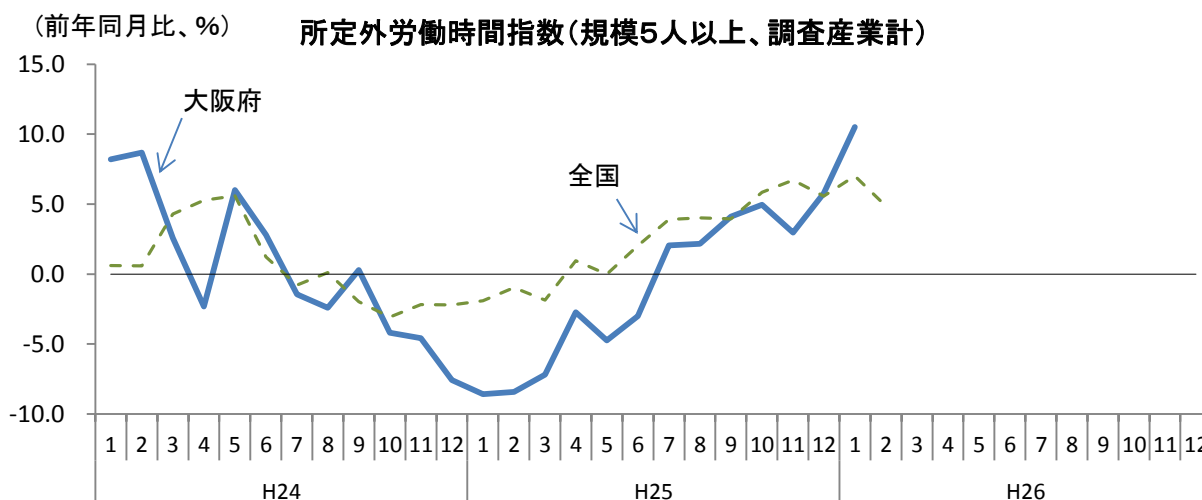
建設業	12.4
製造業	17.5
卸売業、小売業	13.0
宿泊業、飲食サービス業	▲18.5
医療、福祉	3.4

(資料)大阪労働局「求人・求職状況速報」

※新規求人数の増減は原数値での比較

## [供給] 雇用・倒産

### ○所定外労働時間指数【大阪府(1月)は7ヶ月連続の増加。】



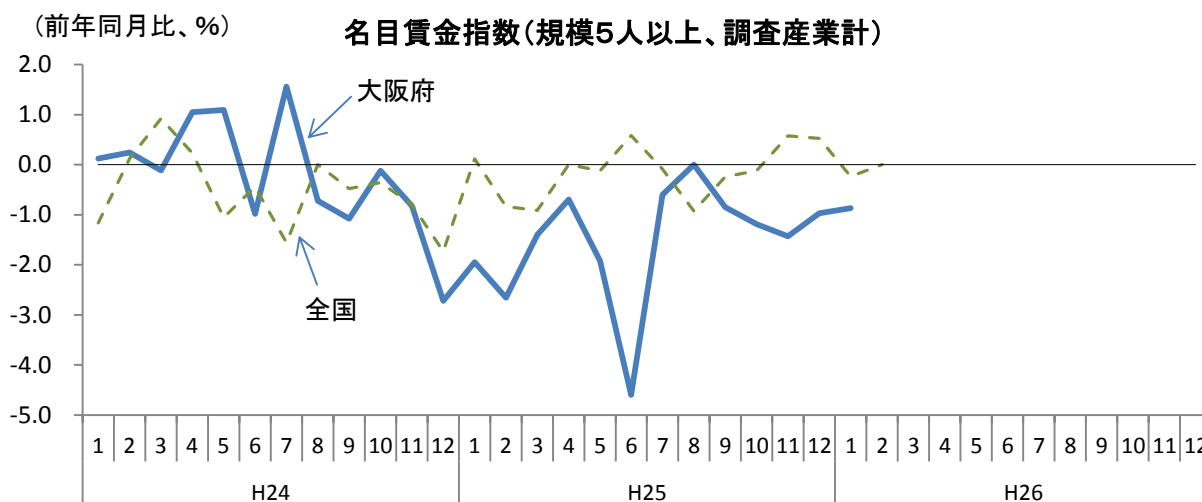
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
 ※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(H22=100)による。

		25年12月	26年1月	2月
H22=100	大阪府	113.5	109.4	
前年比 (%)	大阪府	5.8	10.5	
	全国	5.6	7.0	P 4.9

#### 産業別所定外労働時間の主な増減 (大阪府、前年同月比(%)、1月)

増加	生活関連サービス業、娯楽業(38.1) 運輸業、郵便業(25.5) 金融業、保険業(15.8)
減少	教育・学習支援業(▲31.5) 学術研究、専門・技術サービス業(▲17.5) 電気・ガス・熱供給・水道業(▲11.8)

### ○名目賃金指数【大阪府(1月)は5ヶ月連続の減少。】



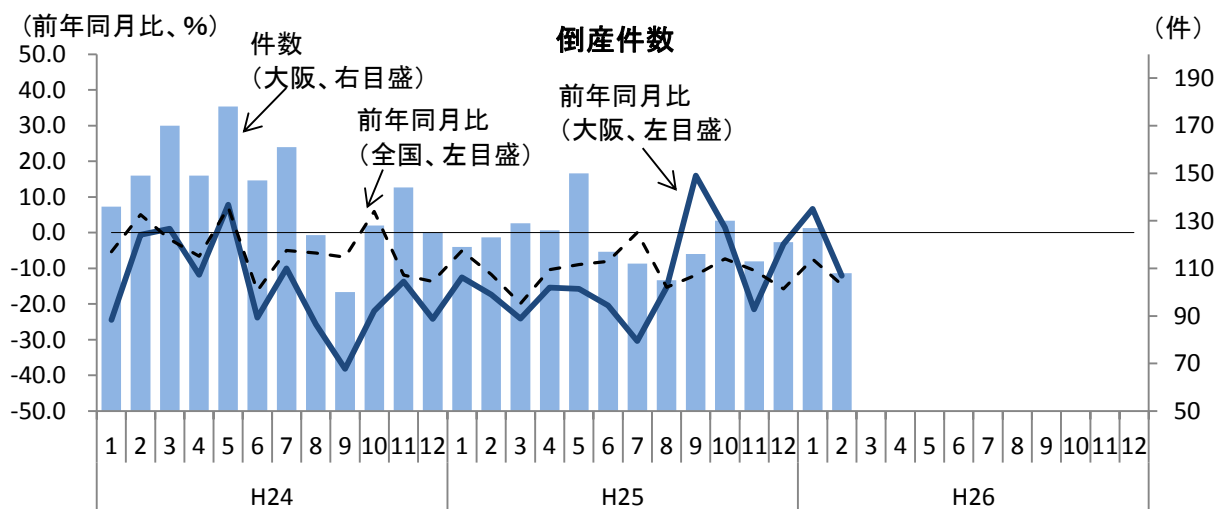
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
 ※前年同月比は名目賃金指数(H22=100)による。

		25年12月	26年1月	2月
現金給与総額(円)	大阪府	588,606	271,102	
前年比 (%)	大阪府	▲1.0	▲0.9	
	全国	0.5	▲0.2	P 0.0

※前年比は名目賃金指数(H22=100)による。

## [供給] 雇用・倒産

○倒産【倒産件数は2ヶ月ぶり減少(改善)、負債金額は2ヶ月ぶりの増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		25年12月	26年1月	2月
件	大阪府	121	127	108
前年比 (%)	大阪府	▲3.2	6.7	▲12.1
	全国	▲15.7	▲7.4	▲14.6

負債金額

		25年12月	26年1月	2月
億円	大阪府	174	133	105
前年比 (%)	大阪府	30.2	▲8.7	36.2
	全国	▲35.5	40.3	▲32.4

主要業種の倒産件数(大阪府)

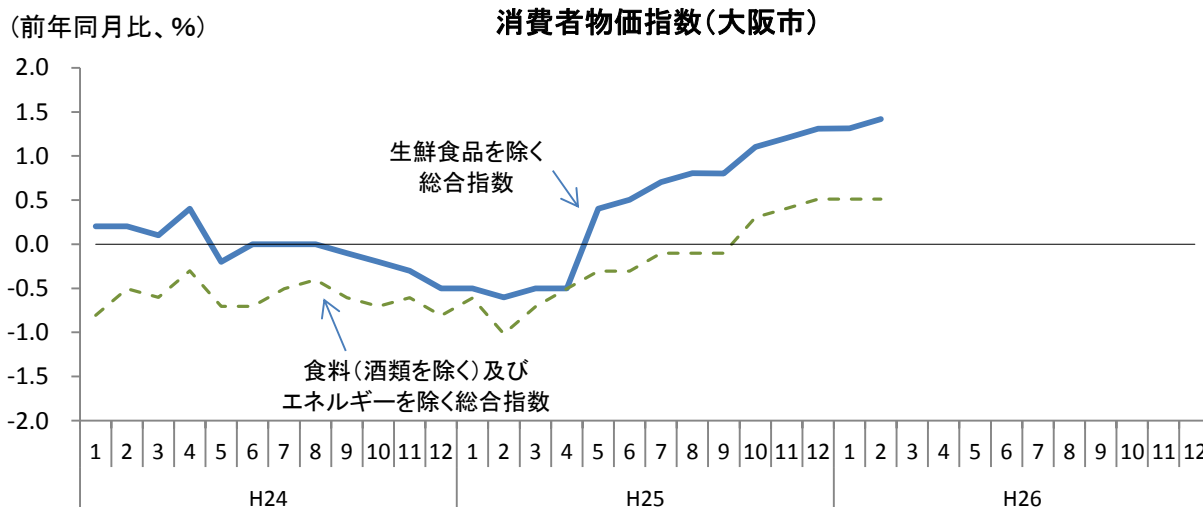
	25年12月	26年1月	2月
建設業	24	26	14
製造業	16	16	14
卸売業	19	24	14
小売業	18	15	11
サービス業	30	35	34

主な倒産(大阪府、2月)

業種	負債額 (百万円)	倒産原因
酒類、食料品・調味料卸	1,600	販売不振
アルミ箔・フィルム加工	1,187	既往のシワ寄せ
建設機械リース	704	その他

## [その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は10ヶ月連続で上昇。「光熱・水道」、「食料」が上昇に寄与。食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は5ヶ月連続で上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」 ※H22=100

#### 生鮮食品を除く総合指数(H22=100)

		25年12月	26年1月	2月
指数	大阪市	100.5	100.2	P 100.2
前年比 (%)	大阪市	1.3	1.4	P 1.4
	全国	1.3	1.3	1.3

#### 食料(酒類除く)及びエネルギーを除く総合指数(H22=100)

		25年12月	26年1月	2月
指数	大阪市	98.6	98.2	P 98.0
前年比 (%)	大阪市	0.4	0.5	P 0.5
	全国	0.7	0.7	0.8

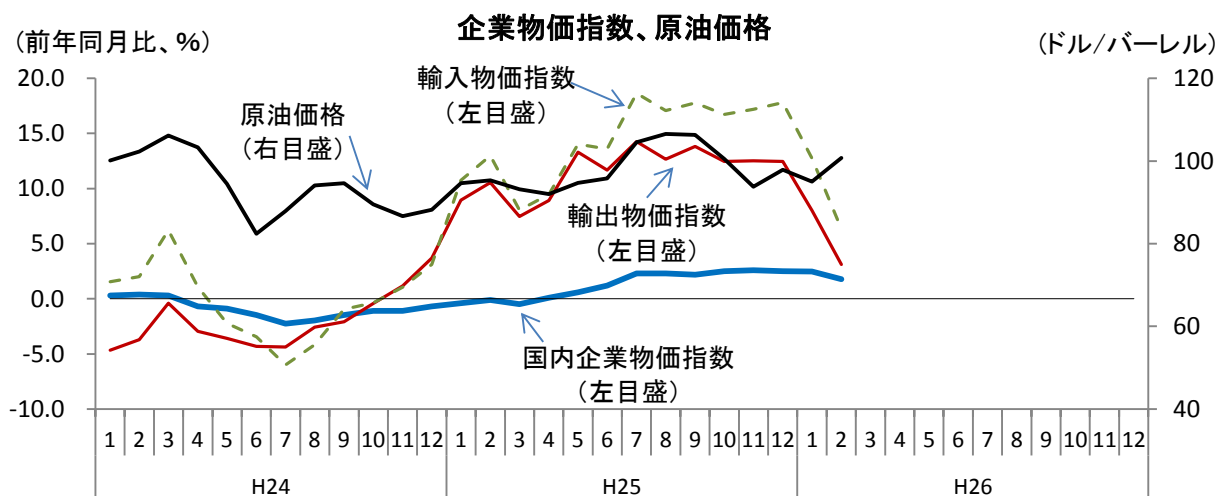
#### 主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、2月速報)

上昇	光熱・水道(9.9):電気代、ガス代(都市ガス代、プロパンガス)
	食料(1.7):魚介類(さけ、いわし、さば)、乳卵類(鶏卵、牛乳(店頭売り)、牛乳(配達))
	諸雑費(3.6):身の回り用品(ハンドバッグ(輸入品)、指輪、通学用かばん)、他の諸雑費(傷害保険料、振込手数料、保育所保育料)
低下	—

## [その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数、輸出物価指数、輸入物価指数はすべて上昇。原油価格は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は H22=100。

企業物価指数 (前年同月比 (%))

	25年12月	26年1月	2月
国内企業物価指数	2.5	2.5	P 1.8
輸出物価指数	12.4	8.0	P 3.1
輸入物価指数	17.8	12.7	P 6.3

原油価格 (WTI)

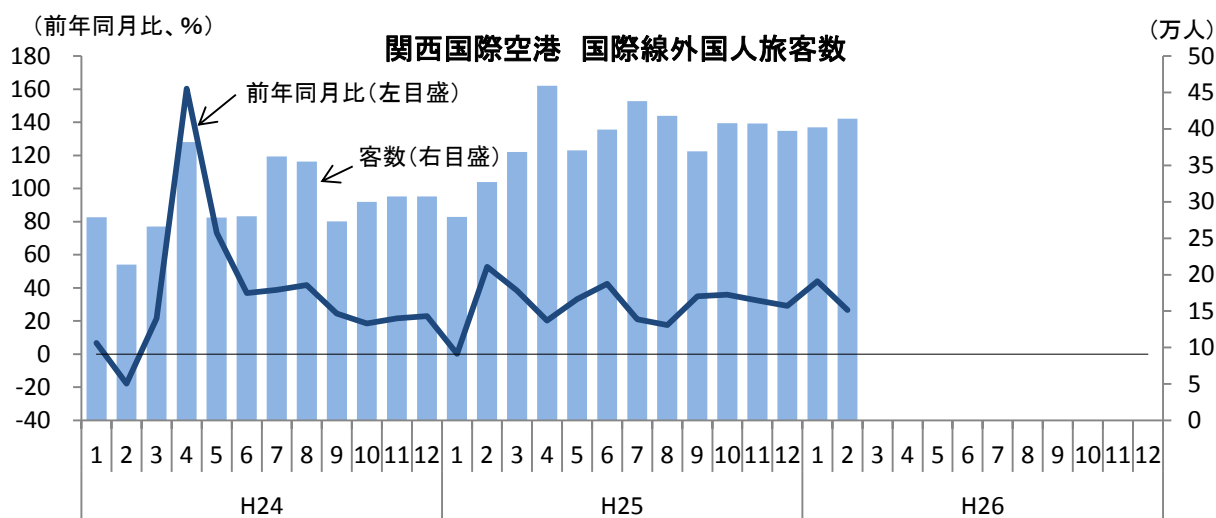
	25年12月	26年1月	2月
ドル/バーレル	97.90	95.00	100.70

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した  
主な類別・品目 (2月速報、寄与度 (%))

電力・都市ガス・水道 (0.03) : 大口都市ガス、業務用高压電力、産業用特別高压電力
農林水産物 (0.02) : 豚肉、鶏卵、しらす干し
石油・石炭・天然ガス (▲0.11) : 軽油、液化石油ガス、ガソリン、灯油
スクラップ類 (▲0.03) : 鉄くず
非鉄金属 (▲0.02) : 銅地金、プラスチック被覆銅線、銅裸線

## [その他] 観光

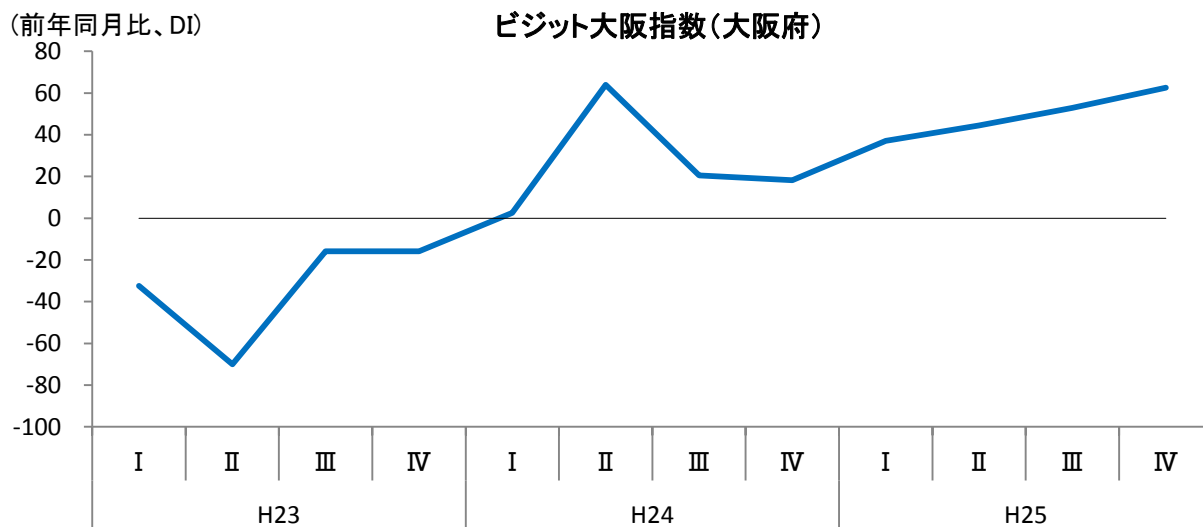
### ○関西国際空港 国際線外国人旅客数【24ヶ月連続で増加】



(資料) 新関西国際空港(株)「運営概況」

	25年12月	26年1月	2月
万人	39.8	P 40.2	P 41.4
前年比(%)	29.3	P 44.0	P 26.6

### ○ビジット大阪指数(DI)【前年同期比で、10～12月期は前回調査より上昇。】



(資料) 大阪府都市魅力・観光課「大阪府観光統計調査」

※四半期は暦年ベース。DI:「好調」の割合(%)－「不調」の割合(%)。

	25年 4～6月	7～9月	10～12月
業況判断 DI (前年同期比)	44.4	52.9	62.5